

# PR活動で知名度向上

10月は、だんだんと気温が下がりがり、秋の気配が深まる季節です。気候が良く、晴れ間が多いこの月は、各地でスポーツ大会やお祭りなどのイベントが数多く行われます。本市でもさまざまなイベントが開催されますので、皆さん、ぜひお出掛けください！

さて、本市が文春新書から2009年に出版された書籍「日本の珍地名」(竹内正浩著)の中で、難読・誤読地名番付・東の横綱として紹介されたことは皆さんご存じかと思えます。本で紹介されてから15年、改めて難読地名を検索してみますと全国のさまざまな地名が上がり、難読地名の両横綱であった「匝瑳市」と「穴粟市」を破る自治体(一位になったのは長野県東御市でした)が現れるなど15年の歳月で難読地名がかわいにも変化の兆しが現れています。「読めない、書けない、どこにあるのか分からない」では、市のイメージダウンやブランド力低下を招くことから、これまで難読地名を逆手に取りながら知名度を上げるために行ってきた各地のイベントへの出展といった地道なプロモーション活動や、全国に先駆けた「脱炭素先行地域」などの取り組みが知名度向上につながったものと思っております。



この知名度向上を移住・定住につなげるため、現在、シティプロモーション活動に力を入れております。シティプロモーションとは「ブランディングによる地域のイメージアップ」「移住者・定住者の増加」「地元住民の愛着意識の形成」などを目標として行われるもので「ゆるキャラ」を使った広報活動、名産品やアンテナショップの展開、マスメディアに向けたプレスリリース、SNSの活用、地域資源を生かした体験型サービスの実施や各種イベントなどがその代表的なものです。この他にも、住居の購入費や改修費の補助、起業支援や子育て支援策などの移住者の確保をメインにプロモーションを行うこともシティプロモーションの一環といえます。これらの取り組みを通して地域の活性化および経済的な安定を目指し、匝瑳市を将来にわたって維持していくことがこの活動の最終的な目的です。

匝瑳市長 宮内康幸

## 匝瑳探訪 庚申さま

上谷中を歩く

路傍や寺社の境内、墓地などで石造物を見掛けることがあります、石塔正面に彫られた仏像や側面に刻まれた文字から造立のいわれなどを知ることが出来ます。

庚申さまと呼ばれる「庚申塔」は江戸時代、村や集落ごとの講中などで建てたものが旧八日市場市域で140基ほど確認できます。60日ごとに回ってくる庚申の日に講仲間の家を順番でヤド(宿)とし、庚申さまの掛け軸をつるし、飲食などで夜通し過ごしたとされます。1970(昭和45)年ごろまでは庚申講が続けられていた地区もあったとされ、堀川西・吉祥院には掛け軸が残されています。



「谷中村」の庚申塔

江戸時代の庚申年は1680(延宝8)年、1740年(元文5)年、1800(寛政12)年、1860(万延元)年が当たり、1700年代に入って造塔が増えました。今回紹介する庚申塔は、上谷中・新宿の総武本線の線路脇にあり、正面上部に青面金剛を表す梵字(種子)、その下に「奉る庚申待ち、二世安樂の所なり」、左右に「延宝八庚申天十一月五日、谷中村中」と刻まれています。

上谷中村が成立して数十年経過しても旧村名の「谷中村」が使われ、籠部田との村境を示す場所に庚申塔をまつたのでしよう。東谷区にも「東谷村 安養寺 同行三十人」と刻まれた同型の塔があり、同時に発注したのかも知れません。この2基を含め1680年に建てられた4基が市内最古の庚申塔です。

多様な種類の石造物の中で庚申塔が最も多く、市内南部の真言宗寺院のある地域に建てられているのに対し、日蓮宗寺院の多い北部地域ではまったく見られず、「題目塔」が多いのも市内の分布状況の特徴といえるかも知れません。(市文化財審議会委員・依知川雅一)

秘書課広報広聴班

73・0080

# 文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班  
〒289-2198 匝瑳市八日市場八793番地2  
☎73・0080 FAX72・1114

## 短歌

依知川 雅一 推薦

十五日父を知らずに武道館

祈り届くか南の島へ

伊橋 勝利

千羽鶴匠の里から世界へと

平和の心どこへでも行く

小川 一夫

子守歌聞きつつ眠る日もありし

振袖姿で孫ははにかむ

木下 昌子

厚岸の浅蜷懐かし浜で掘る

茶色の無地今朝の画像に

鈴木 知子

初夏の三陸鉄道久慈駅へ

車窓から見ゆ静かなる海よ

内藤喜代美

友からのキャベツで作るやきそばは

店じまいした駄菓子屋の味

鈴木 志子

木漏れ日に秋の葉光る田んぼ道

日傘の白の眩しき朝に

桑原 宏子

石田 健治 推薦

いたづらをわざとしかけて行きし孫

祖母への情愛を示すが如く

伊橋 裕子

仏壇の位牌八本清めをり

まず供へるは自家採り西瓜

伊橋 良子

## 俳句

椿 和枝 推薦

すくもの火点々として刈田かな

秋風や雲輝きて暮れゆけり

那須 恒雄

爆発し花火満開パリの空

はやばやと今宵ひとりのとろろ汁

光瀬甲江子

里人も犬も老いけり赤とんぼ

噛み合はぬ母との会話小鳥来る

安藤 建子

帰省子は揃ってゴロリ畳の間

風鈴に涼しさもらう音色かな

岩井 やす

盆参り四十で逝きし祖父の銘

汽笛鳴る明日は雨降る良く聞こえ

川口 賢一

亡き姉とお座敷列車善光寺

秋の夕泣いて別れた汽車ポッポ

石田 健治 推薦

元気だが優先席に目が走る

汽車通学二人の秘密三両目

野仲 妙子

東京へ汽車に乗り継ぎ職に着く

乗り鉄は景色つまみに酒を呑む

伊藤伊之助

石田 健治 推薦

二十人揃えば強気裏金派

花火より浴衣の君に目が移り

佐々木之子

## 川柳

勝又 康之 推薦

汽笛鳴る明日は雨降る良く聞こえ

亡き姉とお座敷列車善光寺

野仲 妙子

秋の夕泣いて別れた汽車ポッポ

元気だが優先席に目が走る

伊藤伊之助

汽車通学二人の秘密三両目

東京へ汽車に乗り継ぎ職に着く

野仲 妙子

乗り鉄は景色つまみに酒を呑む

二十人揃えば強気裏金派

野仲 妙子

花火より浴衣の君に目が移り

野仲 妙子

地域おこし協力隊員の鈴木優介さんが、匝瑳市を歩き、発見したこと、感じたことをお伝えします。

## 匝瑳

### スズキ発見伝

巻之五

ママが創る新たなイベント

10月12日(土) そうさ記念公園で「NEW WORLD 匝瑳」というイベントが開催されます。

このイベントは市内在住のママたちが「匝瑳市が活気と笑顔であふれるように」という思いのもと企画しているものです。たくさんのキッチンカーやハンドメイド作家が集まり、まるでマルシェのように、また、お神輿やお囃子がきてお祭りのように匝瑳市の魅力がギュッと詰まったイベントになるそうです。

さらにチャンネル登録者数100万人を超えるユーチューバーをゲストとして招き、ステージショーも行われるとのこと、これは大規模なイベントになりそうな予感がします。子どもから大人まで楽しめる「NEW WORLD 匝瑳」。10月12日は、ぜひそうさ記念公園に遊びに行ってみてください。

Instagramで匝瑳市の魅力を発信中  
アカウント名「@y\_suzuki\_sosa」  
イベントなどの情報は  
☒y.suzuki.sosa@gmail.comまで

